

平成 30 年度 漢字まなび活動助成 活動報告書

団体名： 北海道漢字同好会

代表者名： 下山 肇

下記の活動について活動を終了いたしましたので、報告いたします。

記

1、活動名	第 23 回特別講演会 「知っておきたい漢字の知識」 ～漢字のしくみとあゆみ～ 講師：阿辻哲次氏
2、活動日・活動期間	平成 30 年 11 月 3 日（土・祝） 13:00～15:00
3、活動場所	道民活動センター 820 号会議室
4、活動目的	漢字と漢字文化を深く学ぶため、 また漢字に対する関心を高めるために開催
5、対象	同好会会員・一般の方々
6、参加費	500 円
7、参加人数	131 名 内訳（会員 29 名・一般 102 名）
8、活動結果 （自由記述・写真貼り付け等可）	世界の言語の数（400 種類ほど）と文字数（28 種類）の対比から始まり、漢字の生まれた中国の時代背景から現代の日本での使われ方までを通してお話しくださいました。 漢字に好き嫌いがあるのはなぜかという問いかけから、我々が字の形や発音ではなくその漢字のもつ意味を捉えていることをアルファベットと比較して説明。漢字が文字の中で最も長く生き残っている理由のひとつはそれが表意文字であること、そして我々は構成する漢字のひとつひとつの意味を組み合わせることで熟語の意味を理解していることも聴衆の納得する例を挙げて説明。 複数の文字（漢字・ひらがな・カタカナなど）を組み合わせるという事は日本人にしかできないことであり、文字の使い方のなかに日本語の感性を込めて表現できることなども、画像資料を多く交えてわかりやすく解説してくださいました。 漢字は私たちが忘れてしまったおおらかな価値観や世界観の詰まったカプセルであり、それを開くことが漢字を学習することの楽しみのひとつであろうという締めくくりで講演は終了。聴衆は終始楽しいお話しぶりに引き込まれていたようです。アンケートをまとめると「楽しく学べた」という感想がかなり多く、次の機会を期待する声もありました。（アンケート集計結果も添付いたします。）



以上